

株主のみなさまへ

# ISK REPORT

独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。

証券コード 4028



## 第101期 事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

新中期経営計画「Vision 2030 StageⅡ」スタート

- Topics**
- ・『ひょうご小野研究センター』着工
  - ・企業広告のご紹介
  - ・当社ホームページに新たなコンテンツを追加

**ISK** 石原産業株式会社

## サステナブルな経営の実現に向けて

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

4月1日、代表取締役社長に就任しました大久保浩でございます。みなさまにご挨拶を申し上げます。

当社の存在意義(パーパス)は「化学技術でより良い生活環境の実現に貢献し続ける」ことです。これを実現するために、長期ビジョンであるVision 2030「独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。」を掲げています。2030年からバックキャストした2段階目の中期経営計画であるStageIIがこの2024年度よりスタートいたしました。その主な施策として、先ず当社の特長である研究開発型メーカーとしての基盤を強化するため、『ひょうご小野研究センター』を新たに設立します。さらに、StageIIIに向けて、中央研究所の移転・機構改革も検討し、「挑戦的創発機能」の稼働を目指してまいります。一方、操業70周年を迎える硫酸法酸化チタンプラントにつきましては、無機化学事業構造改革により3年後に停止することを決定いたしました。売上高の成長を目指したStageIから利益を求めた筋肉質な体制への変革を進めてまいります。株主還元方針につきましても、2026年度の連結配当性向の目標を40%といたしました。

これらの目標を達成するためには、全従業員が一丸となって取り組んでいく必要があります。当社が社会に貢献していくには、働く従業員が幸せであることが絶対条件と私は考えており、そのために必要な「人への投資」も行っております。2030年のみならず、さらにその先の2050年を見据えて、サステナブルな企業を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **大久保 浩**



## Financial Highlights 連結財務ハイライト

### 有機化学事業

- 農業は米州で在庫調整の影響により殺菌剤の販売が落ち込んだものの、欧州ではアフリカでの害虫発生などで殺菌剤の需要が伸び、アジアや国内販売も堅調に推移し増収増益
- 動物用医薬品や医薬品原薬などのヘルスケア事業は増収

### 無機化学事業

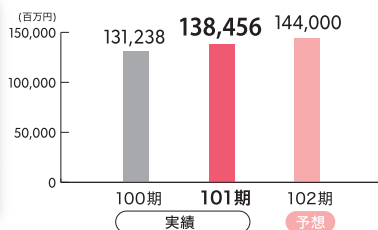
- 機能性材料は電子部品用材料が積層セラミックコンデンサ業界の過剰在庫解消策の影響を受け減収
- 酸化チタンはアジア市況の低迷や建築用途向けなどの需要回復の遅れで販売は伸び悩むも、前期の価格改定の寄与や円安の影響などで増収
- 販売数量減少に伴う稼働率の低下などでコスト増となるも価格改善の取り組みが寄与し増益

### 全社

- 為替レートが想定よりも円安に推移したことなどで営業利益および経常利益はともに増益、硫酸法酸化チタンに関連する特別損失(固定資産の減損)を計上するも最終利益は増益

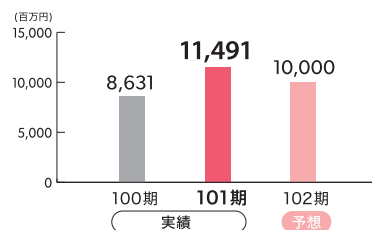
#### 売上高の推移

**1,384億円**  
前期比  
**72億円増**



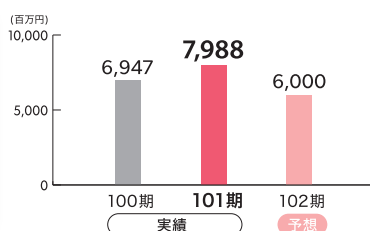
#### 営業利益の推移

**114億円**  
前期比  
**28億円増**



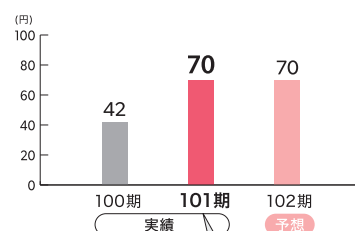
#### 親会社株主に帰属する当期純利益の推移

**79億円**  
前期比  
**10億円増**



#### 1株当たり年間配当金の推移

**70円**  
前期比  
**28円増**



WEB

株主総会動画はこちら

石原産業 株主総会 検索



決算説明会資料はこちら

石原産業 IR説明会資料 検索



当期(101期)の期末配当金  
1株当たり **70円**



## 新中期経営計画「Vision 2030 Stage II」スタート

### Stage I の振り返り (2021~2023年度)

前中計 (Stage I) は、当社としては初めて、長期ビジョン「Vision 2030」からバックキャストした中期経営計画として、サステナブルな企業価値創造を目指すことを基本方針として策定しました。

Stage I の初年度である2021年度を新生ISK元年とし、開発型企業としての「独創」性を最大限に発揮して、「スピード重視で事業化を「加速」して、「グローバル」に事業を本格展開・拡大し、化学を通じて人類、社会、生命、環境に貢献できる企業であり続けるための基盤固めを進めることを目標としました。

Stage I の重点施策の内、パーパスの制定や社内でのサステナブル経営の浸透、株主還元においては一定程度計画を達成しました。業績面については、以下に記載の通りです。

独創・加速・グローバル。  
化学の力で暮らしを変える。

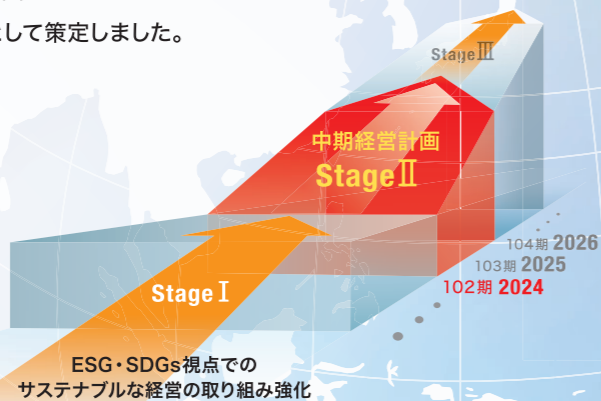
### Vision 2030

「Vision 2030」経営目標  
2031年3月期

連結営業利益 **240** 億円  
(想定連結売上高  
**1,800** 億円以上)

ROE  
**10%** 以上の安定確保

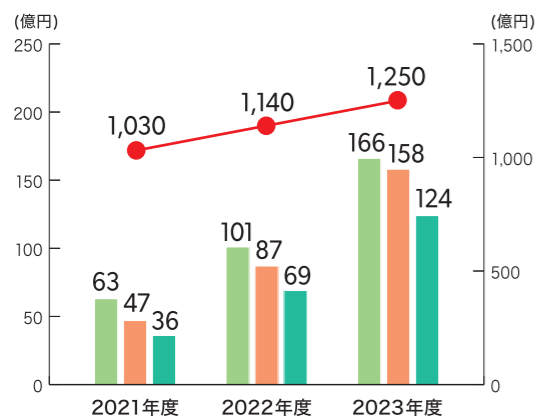
安定的な株主還元の継続



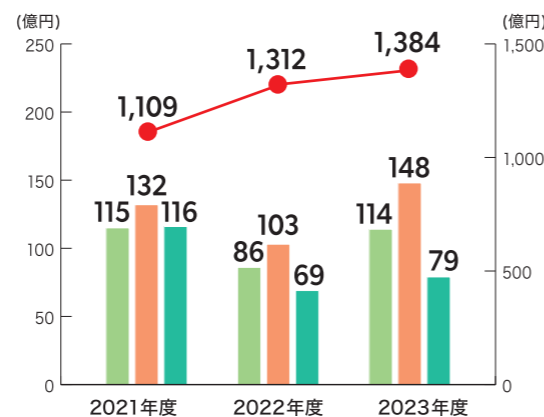
### Stage I 実績

- 売上高は、価格改定や円安の他、農業のブラジルでの旺盛な穀物生産による販売増加や、米国での新規除草剤の販売により上昇
- 事業別営業利益は、バイオサイエンス事業が売上と共に伸長するも、2022年度下期以降、酸化チタン事業が市場の失速により減少。全社営業利益は、原燃料価格高騰による製造コスト増を価格改定や円安の影響で吸収するも、販売数量未達と一般管理費増加により計画未達

### Stage I 目標



### Stage I 実績



●売上高 ●営業利益 ●経常利益 ●純利益

### Stage II の概要 (2024~2026年度)

#### 基本方針

Stage I から継続し、サステナブルな企業価値創造を目指します。

#### 重点施策

- 独創のための研究・技術開発力の強化と効率化
  - グローバル化の加速
  - ROIC経営の推進
  - 安定した株主還元の継続 等
- これら重点施策の実施により、事業基盤の強化と事業構造の改革を推進します。

#### 株主還元方針

- 安定的な配当の継続
- 最終年度 (2026年度) に向けて連結配当性向目標：40%
- 機動的な自己株式取得の実施

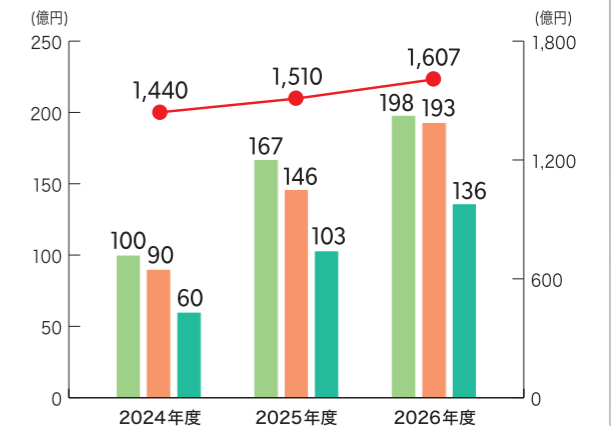
WEB

中期経営計画についてはこちら

石原産業 中期経営計画 検索



### Stage II 目標 2027年3月期



営業利益率 6.9% 11.1% 12.3%  
ROE 5.6% 9.1% 11.2%

●売上高 ●営業利益 ●経常利益 ●純利益

### キャピタルアロケーション

営業キャッシュ・フロー  
約**520** 億円

設備投資 約**300** 億円

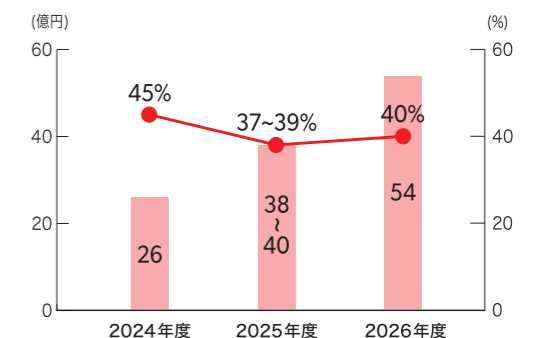
MFマテリアル延岡第2工場  
ひょうご小野研究センター 等

その他成長投資 約**100** 億円

M&Aおよび他社剤導入 等

配当 約**120** 億円

### Stage II 目標 2027年3月期



1株あたり配当金 70円 100~105円 143円

●連結配当性向 ●配当総額



ひょうご小野研究センター

## 『ひょうご小野研究センター』着工

2024年5月29日、当社の有機化学事業における農業の生産技術の研究開発拠点として、『ひょうご小野研究センター』（兵庫県小野市）の新設工事を開始しました。本拠点設置により、現在複数拠点に分散する組織体制を集約し、農業生産技術の研究開発機能の向上を図ることで、中期経営計画「Vision 2030 StageⅡ」の重点施策である「独創のための研究・技術開発力の強化と効率化」ならびに「農業の安定供給・製造コスト低減により当社世界市場占有率の拡大」を推進します。また、人財（ケミカルエンジニア）の育成とモノづくり力（プラントエンジニアリング）の伝承を進めていきます。なお、業務開始は2025年12月を予定しています。

## 企業広告のご紹介

「Vision 2030 StageⅡ」スタートに伴い、企業広告を一刷新いたしました。街並み（暮らし）に降り立つおぼけのビッグビジュアルで、大きな可能性を秘めた未知領域への挑戦を表現し、化学は何物にもなれる可能性があること、挑戦を続け変化を恐れない想いを伝えます。本広告は読売新聞および朝日新聞への掲載を予定しています。また、新幹線新大阪駅 柵内コンコース柱にも看板を掲載中です。機会がございましたら是非ご覧ください。



## 当社ホームページに 新たなコンテンツを追加

当事業への理解を深めていただくことを目的に、新たなWEBコンテンツ「石原ストーリー 化学のちからで未来を変えよう。」を作成いたしました。酸化チタン、遮熱材料、農業、動物用医薬品など6つのストーリーで展開し、社会課題への貢献を伝える構成としております。当社ホームページ（トップ画面）のメインビジュアル2枚目、3枚目に本コンテンツのバナーを掲載していますので、是非アクセスのうえご覧ください。

なお、当社は毎月一回、日本経済新聞、化学工業日報、読売新聞および朝日新聞に6種類の小型広告をローテーションで掲載していますが、各広告に掲載しているQRコードからもアクセスいただけます。

WEB

新たなコンテンツはこちら

石原産業 石原ストーリー

検索



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
定時株主総会	毎年6月	(当社ホームページアドレス)	<a href="https://www.iskweb.co.jp">https://www.iskweb.co.jp</a>
基準日	定時株主総会: 毎年3月31日 期末配当: 毎年3月31日 中間配当: 毎年9月30日	株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100株	(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
		(電話照会先)	 0120-782-031 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

### I 単元未満株式を保有されている株主さまへ

当社の株式は1単元が100株となっています。株主さまがご所有の単元未満株式(100株未満)につきましては、市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。単元未満株式をお持ちの場合は、買増制度、買取制度をぜひご利用ください。

**買増制度** 単元株式(100株)となるよう、不足する株数の株式を当社より購入することができます。

**買取制度** 当社に対して単元未満株式(100株未満)を売却することができます。

### I 特別口座で株式を保有されている株主さまへ

特別口座に記録されている株式は、市場での売買ができないなどの制約があります。市場での売買を行うには、特別口座から証券会社の口座に株式を振り替えていただく必要がございます。

### I 支払期間経過後の配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができなくなります。お早目にお手続きください。

### 配当金を『配当金領収証』で 受領されている株主さまへ

#### ～配当金は口座振込でもお受け取りいただけます～

配当金の受取方法を口座振込に変更されますと、配当金のお支払開始日に株主さまご指定の口座に振り込まれ、安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。この機会に口座振込でのお受け取りをご検討ください。

## 各種お手続きについて

住所変更、単元未満株式の買増・買取、配当金受取方法の指定など

### 証券会社をご利用の株主さま

お取引先の証券会社にお問い合わせください。

### 証券会社をご利用でない株主さま

特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

 **0120-782-031** 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

## 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	石原産業株式会社
英文商号	ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD.
本社	〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号 TEL: 06-6444-1451(総務部)
創業	1920年9月10日
設立	1949年6月1日
資本金	43,420,548,178円
従業員数	(連結)1,813名(単体)1,146名
事業所	本社・中央研究所・四日市工場・東京支店・中部支店・札幌営業所・福岡営業所・アルゼンチン支店・シンガポール支店

「統合報告書2023」は当社ホームページにてご覧いただけます。ぜひご一読ください。



WEB 統合報告書はこちら  
石原産業 統合報告書 検索

